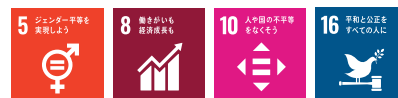


Abiko City

基本目標 8

**誰もが自分らしく輝ける
共生社会を目指した
まちづくり**

(男女共同・人権・平和・国際交流)



8-1 男女共同参画の推進

性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる環境づくりを進めます。

施策の展開内容

性別にとらわれず、あらゆる場面で一人ひとりの個性や能力を十分発揮し、活躍できる環境づくりに取り組みます。

また、男女平等に関する国際的な評価や潮流、国の新たな法律の整備を踏まえ、男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

現状と課題

- 仕事の分野での女性活躍や意思決定過程への女性参画は徐々に進んでいますが、性別役割分担意識や、「男だから、女だから」といった無意識の思い込み「アンコンシャス・バイアス」は根強く残っています。性別にとらわれず、誰もがあらゆる分野で活躍できる社会とするためには、より幅広い観点からの意識の醸成が求められています。

主な取組

男女共同参画の推進

- 性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスを払拭するための情報発信を強化します。
- 性別に関わらず、家事や育児、地域活動に主体的に参画できるよう、社会全体の意識の醸成を図ります。
- 性別に関わらず、被害が潜在化しやすいDVや性被害をはじめ、あらゆる暴力やハラスメントのない社会を目指し、その啓発に取り組みます。
- DV被害者が安心して自立した生活を送れるよう、相談及び支援体制を充実させます。



施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
審議会等の女性委員比率	34.0% (R3.4.1)	40.0%	目標値は令和10年度までを期間とする第3次男女共同参画プランの目標値
市の男性職員の育児休業・部分休業取得率	2.6% (R2)	10.0%	

施策の満足度・不満度に関する指標

【男女共同参画社会の形成】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 56.2%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合(市全体)	39.4%	40.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	10.3%	8.3%以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	9.4%	
	湖北地区	14.6%	
	新木地区	8.4%	
	布佐地区	12.8%	





8-2 人権尊重社会の推進

すべての人々の基本的な人権が尊重され、かけがえのない人生をその人らしく過ごせる環境づくりを進めます。

施策の展開内容

すべての人が人権について理解を深め、お互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性と能力を十分に発揮し、その人らしくいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めます。

現状と課題

- いじめや虐待、インターネット上の誹謗中傷、プライバシーの侵害、特定の民族や国籍の人々を排除するような差別的言動、障害者などマイノリティに対する偏見はいまだに存在しています。人権が守られるよう、すべての人が人権についての理解を深める取組を進める必要があります。
- 自殺に至る原因や動機はさまざまで、差別、いじめ、DV、誹謗中傷、生活困窮、過労などの社会的要因が複合して起こることが知られています。それぞれの要因に応じて、家庭、地域、学校、職場、専門機関などと連携し、対応する必要があります。

主な取組

人権尊重社会の推進

- すべての人がお互いの違いを認め合い、それぞれの人権を尊重しながら、その個性や能力を十分に発揮できるよう、人権についての理解を深めるための啓発活動を推進します。
- 差別や虐待、ハラスメントなど、さまざまな人権問題についての相談を受け付けるため、関係機関と連携し、人権擁護委員による人権相談を実施していきます。
- 非行の防止と罪を犯した人たちの更生について、地域全体で理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、啓発運動に取り組みます。
- 自殺を未然に防ぐための周知啓発を図るとともに、自分の周りにはいる自殺を考えている人の存在に気づき、声をかけ、必要に応じて適切な相談機関などにつないでいけるよう、地域の支援者としてゲートキーパーを養成していきます。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
ゲートキーパーの役割を知っている人の割合	20.7% (R2)	30.0%	ゲートキーパー研修受講者アンケート結果



8-3 平和社会の推進

世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えていきます。

施策の展開内容

「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、市民とともに平和事業に取り組みます。

現状と課題

- 戦後75年以上が経過し、戦争を体験した人、戦争の体験を語る人が少なくなっています。戦争の記憶が薄れていく中、次の世代、さらに後世へ、戦争の悲惨さと平和の尊さを継承していく必要があります。

主な取組

平和社会の推進

- 「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、被爆地である広島・長崎へ中学生を派遣します。
- 派遣中学生OB・OGによるリレー講座を継続するほか、若い世代が参加しやすく、平和について考えるきっかけとなるよう工夫しながら、市民とともに平和事業に取り組みます。
- 原爆被爆国として記憶を風化させることなく後世に伝えるため、平和祈念式典を開催します。
- 戦没者に対し追悼の意をささげるとともに、二度と戦争を繰り返すことのないよう、恒久平和を市民と祈念するため、遺族会と協力し戦没者追悼式を継続して実施していきます。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
リレー講座開始からの派遣中学生OB・OGの参加述べ人数	79人 (R2)	163人	事業開始（平成27年度）からの延べ人数
平和事業への参加者数	310人 (R2)	470人	・平和祈念式典組合せ事業 ・平和の集い



8-4 国際交流・多文化共生の推進

国際理解を深めるとともに、国籍等の異なる人々が、お互いの文化的違いを認め合い、地域社会の一員として生きていくための多文化共生を進めていきます。

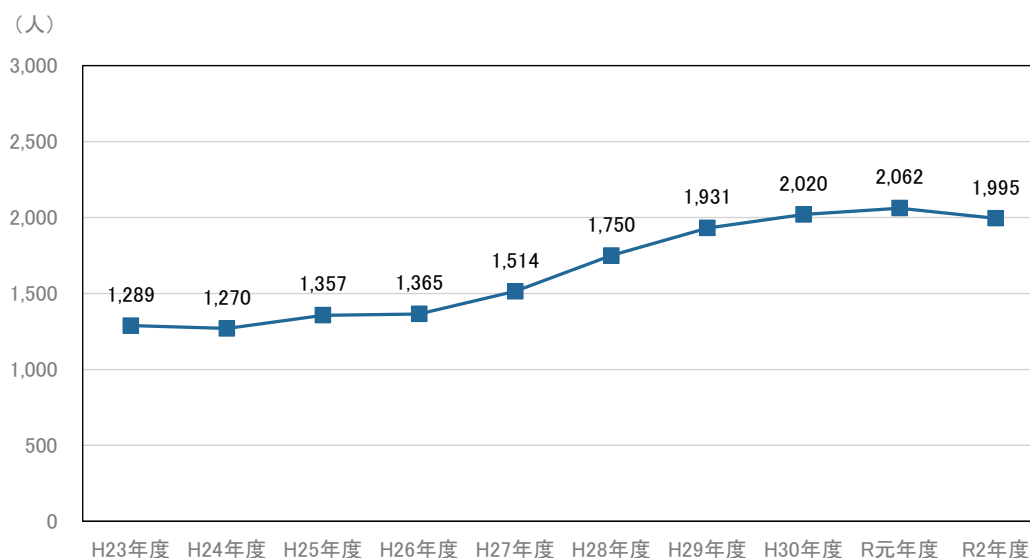
施策の展開内容

在住外国人と市民との国際交流を進め、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生社会の実現を図ります。

現状と課題

- 本市には、令和3年1月現在、1,995人の外国人が居住しており、人口の約1.5%を占めています。日本人と外国人の市民が異なる文化や慣習を互いに理解し、安心して暮らせるまちづくりを進める必要があります。
- グローバル社会の進展や情報通信技術の発達などにより、日常生活の中で外国人と交流する機会が増えています。市民が外国人とのコミュニケーション能力を身につけ、国際理解を深められるよう支援していくことが求められています。

外国人居住者数



主な取組

国際交流・多文化共生の推進

- 我孫子市国際交流協会をはじめとする関係団体などと連携して、市民と在住外国人が互いに理解・交流を深める機会の提供や情報発信に取り組みます。
- 多言語による行政情報の提供や相談支援などを推進し、在住外国人が安心して暮らせる環境の整備を図ります。

施策指標

指標名	現況値	目標値	備考
「外国人のための日本語教室」登録者数	58人 (R2)	93人	
国際交流まつりの来場者数	680人 (R2)	690人	

施策の満足度・不満度に関する指標

【国際性をはぐくみ外国人も暮らしやすいまちの実現】

※令和元年に実施した市民アンケートで「重要」「やや重要」と回答した人の割合 58.7%

指標名	現況値	目標値	備考
満足している人の割合(市全体)	20.1%	41.0%	「満足」「やや満足」と回答した人の割合
不満を感じている人の割合	我孫子地区	12.0%	9.5%以下 「不満」「やや不満」と回答した人の割合
	天王台地区	11.9%	
	湖北地区	13.6%	
	新木地区	9.6%	
	布佐地区	16.5%	

